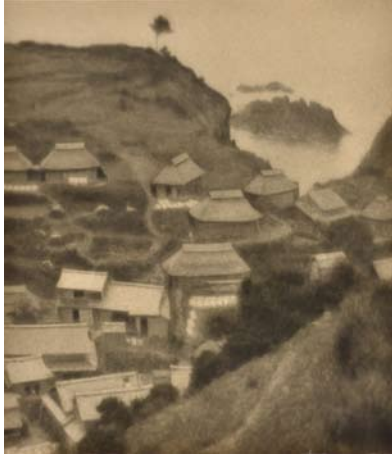


講演会

島根県立図書館
1階ホールにて
関連書籍展示中
(5/7まで)

写真家たちの愛した街

塩谷定好・奈良原一高・森山大道



塩谷定好《村の鳥瞰》1925（大正14）年 島根県立美術館蔵



奈良原一高《サン・マルコ寺院の夜（ヴェネツィアの光）より》
1987年 作家蔵 ©Ikko Narahara



森山大道《パリ》1989年 島根県立美術館蔵 ©Daido Moriyama

写真家たちには、愛してやまない街があります。
山陰をこよなく愛した塩谷定好、ヴェネツィアに魅了された奈良原一高、
パリに憧れこの街のアウラを写し出した森山大道。
島根県立美術館では、「愛しきものへ 塩谷定好 1899-1988」(5/8まで)とともに、
「奈良原一高の愛したヴェネツィア」、「森山大道の愛したパリ」と、
島根ゆかりの三人の写真家による三つの企画展を開催中です(5/15まで)。
塩谷の写し出した大正期から昭和初期の島根半島や松江なども含め、
この展覧会の内容をご紹介します。

■講師 / 蔦谷典子(島根県立美術館主席学芸員)

■日時 / 4月29日(土・祝) 14:00～(講演約1時間半、質疑応答含め2時間)

■会場 / 島根県立図書館 1階集会室 ※聴講無料・当日先着順

講師プロフィール

蔦谷典子(つたたに のりこ)

島根県立美術館主席学芸員。西洋近代美術史、写真史。

1990年、米子市美術館学芸員に就任。「芸術写真の時代 米子写友会回顧展」(1990年)、「植田正治とその仲間たち」(1992年)を企画・開催。その後、1995年より島根県立美術館学芸員として、「写真の歴史160年」(2001年)、「光の狩人 森山大道1965-2003」(2003年)、「伯爵カメラマン 亀井茲明展」(2004年)、「手のなかの空 奈良原一高1954-2004」(2010年)を企画・開催。2014年、日本写真協会学芸賞を受賞。また、県立美術館開館記念展「水の物語—ヨーロッパ絵画にみる神話と象徴」(1999年)、「フランス絵画の19世紀」(2009年)、「水辺のアルカディア ピュヴィス・ド・シャヴァンヌの神話世界」(2014年)などを担当し、「水辺のアルカディア ピュヴィス・ド・シャヴァンヌの神話世界」で2015年、西洋美術振興財団学術賞を受賞。

お問い合わせ先:島根県立図書館(0852-22-5733)

展覧会や講演会の内容については島根県立美術館(0852-55-4700)まで